

社会司牧通信



202408

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★2024 広島教区平和行事 『核兵器のない世界をめざして ともに歩もう』
今年もさらに暑いヒロシマの夏がやってきました。

「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」を拡大するために、今年の基調講演もアメリカ・サンタフェ大司教区 ウエスター大司教様にお願いしました。

[2024 平和行事のご案内 - カトリック広島司教区](#)



平和行事 YouTube 配信 8月5日 13:00～ LIVE 配信あり

[カトリック広島司教区「平和の使徒推進本部」Catholic Hiroshima Diocese - YouTube](#)

●8・6 キリスト者平和の祈り 小谷孝子さんとあっちゃん（腹話術）
[あっちゃんと語る被爆体験 「核」も「戦争」もない未来を願って](#)



★2024 年平和旬間 [日本カトリック司教協議会会長談話「無関心はいのちを奪います」](#)

平和旬間にあたり、この世界で起きているいのちに対する暴力を止め、神の望まれる秩序の実現のために、総合的な視点から取り組みを強めていくよう呼びかけます。無関心はいのちを奪います。

日本カトリック司牧協議会 会長 カトリック東京大司教 菊池 功



★ 司教団文書『[見よ、それはきわめてよかった——総合的なエコロジーへの招き](#)』

ラウダート・シ デスク責任司教 成井司教様 担当司教 アベイヤ司教様からのメッセージです。

「見る」「識別する」「行動する」3ステップで、神と自然と人々と自分自身との関係について振り返ります。信者として生活していくうえで、神の恵みをきわめてよいものとして受け止め、そのあるべき姿を保っていくために、ひとりひとりが日々の生活を

振り返り、エコロジカルな回心へと招きます。



【特集ページ 「ラウダート・シ デスク」】
[司教団文書『見よ、それはきわめてよかった——総合的なインテグラルエコロジーへの招き』特集ページ | 「ラウダート・シ」デスク \(laudatosi.jp\)](#)



山口 周防大島 撮影：中井淳 sj

『エコロジーと人間性の回心』



ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 sj
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

6年前に『ラウダート・シ』をテーマにして社会教説学習会をするために、エコロジーに関する本をたくさん読んだ。その中にサティシュ・クマールさんという世界的に有名な、スローライフを提唱された方と、それを日本に紹介した辻信一さんという大学教授との対談本を読んだ。辻さんが創設された「ゆっくり小学校」なるものがあり、ぜひいつか足を運んでみようかと調べてみたら、なんと下関にあるではないか。車で30分の距離である。「ゆっくり小学校」のイベントに参加してみた。そこから「ゆっくり小学校」のスタッフさんや辻さんと出会い、人生でいろいろと交錯することになった。この出会いから学んだことはいくつかある。ひとつは、ヒルデガルド・フォン・ピングエンという12世紀ドイツを生きたベネディクト会の修道女についてである。幼い頃から神からビジョンを与えられ、詩を書き、絵を描き、作曲をし、また神学者でもあり、植物に治療薬としての効能があることに気づき、薬草セラピーを体系化したり、といった様々な分野で功績を残した聖人である。

「ゆっくり小学校」が企画・出版した『ヒルデガルドー緑のよろこびー』の最後に後書きとしてある辻さんの「塀の上のヒルデガルト」はインスピレーションの宝庫だ。そこに文明史家のベルナルド・リエターの言葉が引用されている。「中世は度々、ルネッサンス以後の「光の時代」との対比で、暗黒時代として描かれるが、実は、10世紀と13世紀の間は西洋史の中に穿たれた「窓」つまり、女性性が重んじられた例外的な時代だった。そしてヒルデガルトはその時代の精神を一身に体現する女性として歴史の中に輝いている。その意味で、彼女はフェミニズムの先駆者の一人である」と。

このような文章を読むと、思い出すのは、4月29日に広島教区で行われた「宣教ひろば」である。ここでシノドスの会議に参加した体験を話されたメルセス会のシスター弘田が言われたことである。それは、フランシスコ教皇が、教皇庁神学委員会の三十人以上の神学者の中に女性が五人しかいないことを指摘して、神学の脱男性化を求めたということである。そして、今回のシノドスには多数の女性が参加しており、今、教会に必要とされているのは、既存のパラダイムの脱男性化なのだ、と教皇は認識しているというような趣旨であったと思う。

フランシスコ教皇は、『ラウダート・シ』の中で人間論が刷新されなければならないと言われる。そして、それを掘り下げるために使徒的勧告『喜びに喜べ』を出された。

そこにあるのは、おそらく、ヒルデガルトが生きた時代の、その女性性が重んじられた例外的な時代の中にあつたエネルギー、スピリチュアリティを取り戻そうという呼びかけのようにも思う。それは自然界が有している緑の力“ヴィリディタス”への感受性であり、エコロジカルなスピリチュアリティのことである。そこには新しいものを作り出す創造性がある。既存の枠組みを打破し、自然とともに生きていく社会を作り出していく創造性。

「ゆっくり小学校」に関わると、このような考えを抱かせてくれるインスピレーションを与えてくれる。先に言及したサティシュ・クマール氏が11月に来日され、下関では19日、広島では10日に講演が予定されている。
(<http://www.yukkuri-web.com/archives/11052>)

★カトリック広島教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口 ★ 広島教区子どもと女性の人権擁護デスク

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 080-9795-3676

メール: desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう~あたたかさの源泉に立ち返る(典礼活動)』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL: 082-221-6613 FAX: 082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> info@social-desk.net